

# 地域と共に、自ら学び、自分の思いや考えを伝え合う子の育成

## 敦賀市立敦賀西小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	9回
中学校区を単位とした協議会	6回
地域及び家庭への学校公開	16回(のべ) 22日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	8人
授業ボランティア(含:低ボラ)	24人
登下校支援ボランティア	130人
その他( )	人

#### (3) 特色ある活動

テーマ <b>登下校の安全</b> 「気軽に気長に できる 範囲で危険なく 活動後には情報交換を」
--

#### 具体的活動内容

敦賀西小学校には、児童の快適な学校生活を支援するために、登下校時および下校後の児童の安全確保を目的とした「西小見守り隊」が結成されている。

平成16年3月に、PTA・子ども会・区長会・婦人会・老人会、そして民生児童委員の代表者にて、「敦賀西小学校と地域を語る会」が開かれ、当時の校長より見守り隊発足の提案があり、翌17年5月に民生児童委員18名による「西小見守り隊」が結成された。その後、PTAや各地区の区長および区民が加わり、平成19年3月にPTA会長を隊長とした新たな「西小見守り隊」が結成され、現在に至っている。

副隊長を各地区の区長が務め、児童数281名に対し、10地区で130名の隊員が活動している。活動の支援ポイントを、「元気いっぱいあいさつを交わす」「危険な場合以外は子ども達の自主性を重視する」とし、目立つ色のジャンパーやベスト、タスキを着用して通学路の見守り活動や児童の安全確保を行っている。

毎年4月に体育館で見守り隊総会を開き、活動の確認や意見交換後に委嘱状を全隊員に渡している。総会後には、全校児童が地区ごとに分かれ、隊員との対面式を行っている。児童は、毎日見守ってくださる隊員の顔を覚えて、登下校時にあいさつを交わしたり、学校の様子を伝えたりしている。

下校時間は学年や日によって違うため、毎月「下校予定時刻表」を作成し、PTA委員が分担して全隊員に配布することで、確実な見守り活動ができるようになっている。

毎年3月には、「感謝のつどい」を開催している。児童が日頃の見守り活動に対する感謝の気持ちを隊員に表し、お礼の品や感謝の手紙を隊員に直接手渡し、交流を深めている。

#### 【見守り隊感謝のつどい】



#### 成果と課題

敦賀西小学校の見守り隊は、児童数に対し隊員の数が非常に多く、地域をあげ、たくさんの目で子ども達を見守っている。隊員は、学校が要請したものではなく、あくまでも自主的であり、地区の地域性が豊かでまとまりがあることだと感じている。また、「気軽に 気長に できる範囲で 危険なく 活動後には情報交換を」をモットーとして、見守り活動を通して交流を深め、情報を共有し合うことで、大人も子どもも世代を越えてつながっている。

課題としては、隊員の高齢化が挙げられる。各地区の隊員の世代交代や保護者の積極的な参加も促しながら、今後も家庭、学校、地域が一体となって子ども達のために活動したい。